

近森病院附属看護学校開校

—大いなる明日をめざして新たな幕開け—

2015年（平成27）4月7日（火）、近森病院附属看護学校の開校式および入学式が行われ、第1期生42名が入学しました。

近森病院附属看護学校
副学校長 尾原 喜美子



4月7日、近森病院附属看護学校の開校式と入学式が行われ、近森理事長の開校宣言により近森病院附属看護学校として第一歩を踏み出しました。

看護学教育への参入であり、まさに近森病院にとり歴史的な一ページの幕開けだと思います。開校式に引き続き行われた入学式では、第1期生42名が、来賓、教職員、多数の近森会グループの皆さん、ご家族の祝福を受け入学いたしました。

「何事にも積極的に取り組み目標達成に向かうと共に、一人の人間として

も大きく成長できるよう一步一步踏みしめ精一杯努力する」、という入学生代表の高らかな宣誓により、教職員一同は、決意新たに取り組もうとする42名の息吹を感じることができました。

あいにくの曇り空でしたが、学校長の「リリース」の声で放たれた学生の希望をのせたスカイブルーと白の風船は、白雲のなかに一斉に飛び立ち、一段の群れとなって空の彼方に吸い込まれていきました。

参加者の「ワー」、「すごい」という歓声を聞きながら、これから始まる看護学校の未来も、風船のように目標に向かって高く進んでくれることを願うと同時に、看護学校として背負う責任の重さを痛感しました。

次年度には新しい校舎が完成しますが、それまでの期間、管理棟での授業

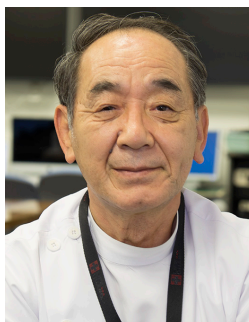
や演習となり、近森会グループの皆さんにはたいへんご迷惑をおかけいたします。今後とも引き続きご支援、ご協力をいただけますようお願いいたします。
おはら きみこ



心房細動と 脳梗塞(脳塞栓症)

近森病院副院長
内科部長

浜重 直久



長嶋監督やオシム監督の発病などもあって、心房細動による脳塞栓症の恐ろしさが社会的にも認知されるようになりました。その予防に、当初はアスピリン(抗血小板剤)が投与されていましたが、大規模臨床試験の結果をうけて、1990年代から積極的にワーファリン(抗凝固薬)が使用されるようになりました。

ただし、ワーファリンの効果は個人差が大きく、定期的な採血検査でPT-INR(プロトロンビン時間)を適正な値にコントロールする必要がある、納豆などの食事や併用薬の影響を受けやすい、専門以外の医師は使い慣れないな

どの欠点がありました。

近年、新規抗凝固薬が相次いで発売され、大々的なキャンペーン(高知だけでも年20回以上の講演会)がなされています。早期から確実な効果が得られ、脳出血のリスクも低いことから、

ワーファリンよりいい薬であることは確かでしょうが、ワーファリンの10～30円に対して、1日500円以上もかかることが難点です。

除細動やカテーテル治療前など、なかには恩恵を受ける人も少なくないと思いますが、ワーファリンで効果の安定している人や、高齢者、寝たきり患者などにも安易に処方されているのを見ると、医療経済的に大丈夫かなと思ってしまう。

個人的には、ワーファリンで脳出血が多いというのであるなら、まずはガイドラインで示されているPT-INRの目標値を改める(2.0～3.0→1.7～2.5)のが先決ではないかという気がします。はましげ なおひさ

お弁当拝見 33 手軽にサッと健康的に



近森病院放射線科

看護師 山崎 富加



以前はコンビニなど買って食べることが多く、野菜も不足していました。しかし、1～2年前からマラソンやダイビングなどの趣味をきっかけに、バランスの摂れた食事を心がけようと、お弁当を毎日作るようになりました。とはいっても、手軽にサッと出来る簡単なお弁当なんですけど……。これからも健康的に、体力作りのためにも食事面にも気を配っていこうと思います。

やまさき とみか



5月の歳時記

カモミール

近森リハビリテーション病院
介護福祉士

宮崎 愛弥



100円ショップで種を見かけ、袋にリンゴのような香りがすると書かれており、興味があったので購入。

本当にリンゴのような香りがするのか半信半疑でしたが、開花するとリンゴのような香りがして驚きました。カモミールティは心身をリラックスする効果があるそうなので皆さんもリラックスしたいときには試してみてください。みやざき あや



絵も筆者

ワイン講座 ● 31

ぶどう品種を知り、個性を探る 黒ぶどう その⑧

メルロ その①

脇役と思われがちな品種メルロ。しかし、今は時代のトレンドといった感さがあります。ボルドー地方では19世紀まで補助的な品種としてみなされていましたが、現在はカベルネ・ソーヴィニオンを大きく凌ぐ栽培面積となっています。

サン・テミリオン地区やポムロール地区では、メルロ主体で造られるワインが多く、そのシャトーのワイン需要の高まりには目を見張るものがあり、近年では、ボルドー地方の底辺のランクのものでさえ、メルロ主体で造られる傾向があります。

また、ニューワールド、例えばアメリカのカリフォルニア州とかワシントン州、ニュージーランド、チリでも栽培され、高い人気を得ています。

シャトー・ル・パン/同上/フランス、ボルドー地方●メルロ主体で造られるワインの代名詞的存在。エキゾチックで世界中で最も高価な唯一無二のワイン。

メルロは、他の品種と比較すると早熟で早く収穫することができ、仕上がったワインも果実の凝縮した風味があり、酸やタンニンは丸みを帯び、なめらかで口当たりの優しい風味のものに仕上がりが、比較的早く楽しむことが出来ます。

これからワインを飲み始めてみよう、なんて方がいましたら、この品種でできたワインを選ぶといいですね。

鬼田知明(有限会社鬼田酒店代表)



看護部

キラリと光る看護

部署紹介 2 手術室篇

高度手術医療をささえる 手術室の多職種仲間たち



近森病院手術室
看護師長 東野 栄三

昨年の9月にA棟でハイブリッド手術室を含む四つの高機能手術室の運用を開始し、全11室の手術室がフル稼働することができました。最新の医療機器や映像システムをそろえ、さらに高度な手術医療が提供できる環境が整いました。昨年より導入したOS（オペレーションサポート臨床工学士）5名も順調に手術の器械出し業務に慣れ、看護師35名と共に日々の手術に対応しています。

手術に必要な器械のピックアップ、使用材料の補完（SPD）はシーメックが

担当してくれ、術後の器械洗浄、セット組み、滅菌、収納はシーメック2名と四国管財2名、手術室の清掃は四国管財が担当してくれています。秘書の2名も医師のサポートを行い、看護師が手術、術前訪問に集中できる状態に援助してくれています。

現在はER夜勤や病棟研修にも、手術室看護師が活躍できる場を広げるようになってきています。今後、ますます高度な超急性期手術医療が安全・確実・迅速に提供できるようスタッフが働きやすい環境にしていくことと、術中だけでなく救急から術後にかけて患者に関わっていけるよう、環境を整えてより良い手術看護が提供できるため

看護師採用試験

日時：5月23日（土）、7月25日（土）、
11月28日（土）、
2016年2月26日（金）

応募：履歴書（様式不問）は1週間前までに郵送いただくか、ご持参ください。

※詳細は近森会グループのウェブサイトに掲載しています。

2016年度 看護職員採用試験

近森会グループ

私たちと一緒に看護しませんか？

CHIKAMORI HEALTH CARE GROUP

※中途採用希望の方は、お手数ですが近森病院 看護部長室までご連絡ください。

採用試験日	5/23	7/25	11/28	2/26
-------	------	------	-------	------

【提出書】
履歴書、写真、最近2寸3寸のカラー写真1枚、
近森病院、看護棟、看護部長室まで
【代表電話】

に手術室で多職種の仲間と力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。

ひがしの えいぞう

2015年

よさこいチーム
「ちかもり」

！踊り子募集！

いよいよ「第62回よさこい祭り」の夏が近づいてきます。近森会のチーム「ちかもり」は今回で6回目の出場になります。皆さん！一緒にKochiの夏を踊り尽くしましょう。



● 応募資格 ●

近森会グループ職員、職員家族
近森病院附属看護学校学生
関連会社職員

※5月初旬より募集を開始します。

脇腹のくびれ



近森 正幸

松戸市の東葛クリニック病院副院長で、チーム医療フォーラム代表理事でもある秋山和宏先生が提唱されている『メディカル・ウォーキングのすすめ』という小冊子をいただいた。

およそ70歳の健康寿命が過ぎ、人生ラスト10年になると、「歩けなくなる」、「食べられなくなる」、「認知できなくなる」。三つの節目が順番に現れて、そのたびに自立度が低下して最期を迎える。こうした老化予防に効果があるのが「メディカル・ウォーキング」で、かなり早歩きで5.76km/hの

「速歩」をベースにしている。

いってみれば「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に、それぞれを3分づつ行うというもの。しかも一日「速歩」を5回・15分間、一週間で4日やればよいというもので、筋肉量と筋力を維持増加できるという。

ものは試しと、私も早速このインターバル歩行を始めてみた。朝少し早めに起きて、「ゆっくり歩き」から始まって、「ゆっくり歩き」で終わる33分間を目安にした。「さっさか歩き」は大腿で歩かざるを得なくなるので自然と腸腰筋が鍛えられる。すると内臓が持ち上げられ、垂れていたお腹がしまってくる。やり始めてまだ一カ月も経っていないが、脇腹にくびれが出てきてズボンがゆるゆるになってきた。しかも脂肪肝もなくなっていたので内臓脂肪も減ったようだ。

朝ごはんには納豆、豆腐、味噌、卵、干物など、しっかり蛋白質を摂っていて、運動して食べるので筋肉量も増加しているのを感じる。「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」というインターバル歩行をすることで、こんなにも効果が現れるとは、自分でも驚いている。私の脇腹のくびれを見て、連れ合いもいつの間にか始めていた。

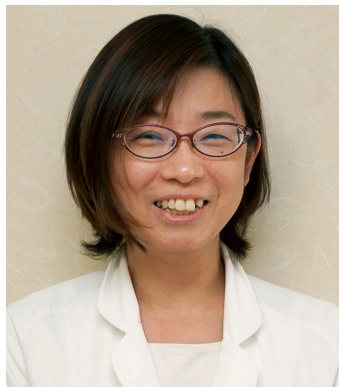
理事長・ちかもり まさゆき

乞！熱烈応援

嚙下、だけじゃないです

あくまで『こやじ』です

研修医の父と呼ばれるように



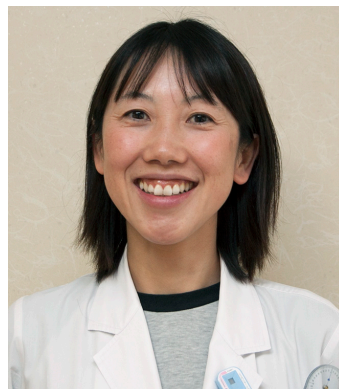
近森リハビリテーション病院
リハビリテーション科部長
和田 恵美子

最近「嚙下専門の先生」とよくいわれますが、実は義肢装具も大好きな専門分野です。今年は嚙下サポートプロジェクトもはじまりますが、歩行分析機器や免荷装置、下肢装具ロボットも導入しますので歩行分野でも仲間を募集中です。

リハビリテーション科の魅力を日浦科長といっしょにアピールしていきたいとおもいます。

わだ えみこ

患者さんのベストとはなにか

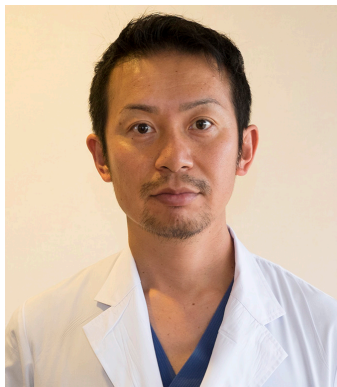


近森リハビリテーション病院
リハビリテーション科科長
日浦 裕子

卒業後、大阪で勤務しておりましたが、平成24年4月より近森リハビリテーション病院に勤務しています。効率よく仕事をこなすにはまだ遠いなか、勉強の日々です。

患者さんのベストとはなにか、日々悩みながらもやりがいを感じて仕事をしています。仕事も人生も、まだまだ未熟ですがよろしく願いいたします。

ひうら ゆうこ



近森病院循環器内科
部長
山本 哲史

永遠の若手を自負しておりましたが、いたずらに歳を重ね、最近では若い医師やコメディカルの方々から声をかけられることもめっきり減りました。疎ましい「おやじ」と化してしまったようです。この度、循環器内科部長という大役を仰せつかり、いささかの不安はありますが、これを機に再度若返りを図り、『こやじ』として若手のリーダーを目指したいと思います。

やまもと さとし

1年半が経ちました

近森病院放射線科
科長 細田 幸司

近森病院に勤務し始めて一年半が経ちました。日々、読影やIVRなどの業務に追われていますが、放射線技師、臨床検査技師、看護師など、コメディカルの方々の協力でなんとかやっています。

黙々と読影していると集中が続かないこともあります。相談しながら画像を読むことで有意所見に気付くこともありますので、気軽に御相談ください。

ほそだ こうじ



近森病院消化器内科
部長
近森 正康

今年度より消化器内科部長と研修管理委員長の辞令を拝命しました。今後は自らの臨床能力の更なる向上とともに後輩の育成や臨床研究の発表など院外への情報発信も頑張っていこうかと思っています。研修管理委員長は、川井前委員長の後任になります。引き続き地域医療を実践できる臨床医を育成する研修環境を作っていきたいと思っています。

ちかもり まさやす

仲間と共に

近森病院救急科
科長 三木 俊史

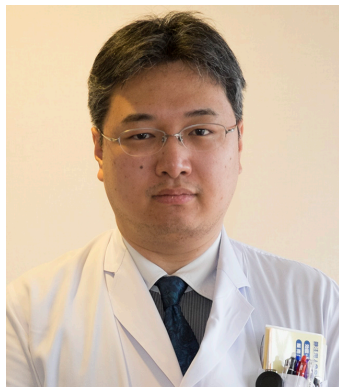


医師となり近森病院に就職しはや10年という月日が経ちました。態度と体だけはでかくなりました。今回、初期研修医として共に働き出した仲間とともに科長を拝命しました。彼らは言わば戦友であり、皆それぞれの分野で活躍をしている姿を見ると感慨深く励みになります。仲間と共にひとつでも多くの命を救えるよう、これからも自分の道を究めていきます。

みき としふみ

乞！熱烈応援

診療の充実と研究への邁進



近森病院神経内科
部長
葛目 大輔

2015年4月より神経内科部長を拝命致しました。赴任以来、数多くの患者さんを診療してきました。月が流れるのは早く、白髪がかなり目立つようになり、自分の「老い」を自覚するようになりました。

今後は日常診療を充実させると共に、日常臨床に立脚した臨床研究にも邁進する所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

くずめ だいすけ

おんしゃらあもなったかや

感染症内科のスタート



近森病院呼吸器内科
兼感染症内科部長
石田 正之

つい先日抱負を述べさせていただいたばかりですが、またこの様なご挨拶をさせていただきます。ただ今回、これまでと異なる点として、3月に感染症学会の施設認定を受け、呼吸器内科だけでなく、新たに、感染症内科としてのスタートもきらせていただきます。まだできたてほやほやの状態ですが、徐々に成長させていきたいと考えています。

いしだ まさゆき

心リハ科 新設？

チームワークを大切に



総務部 部長
谷 知明

この度、総務部長を拝命いたしました。総務部には直接医療現場に接することが少ない部署もありますが、自分たちの仕事の一つ一つが診療現場につながっているという認識を忘れずに取り組んでいきたいと思います。

視野を広く持ち、スタッフ間のコミュニケーションとチームワークを大切にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

たに ともあき

信頼される仕事を

近森病院脳神経外科
科長 西本 陽央



近森病院循環器内科
科長 古谷 敏昭

近森病院の初期研修医1期生として勤務を始めてから早くも10年が経過しました。今までは心臓カテーテル検査や治療を中心に内科疾患の診療に従事してお

りました。

今後は研修医や後輩らの指導により一層力を入れつつ、かねてから念願だった外来診療における心臓リハビリテーション部門の始動にも尽力させていただきます。

こたに としあき



診療支援部部長兼企画課課長
山崎 啓嗣

このたび診療支援部長の職を拝命致しました。今後は診療支援部全体の舵取り役という重責を担うことになり身の引き締まる思いです。百戦錬磨の前部長には足元にも及びませんが、「どうすれば実現できるか」という視点で診療現場の支援を行っていく決意です。みなさまに教を請うことや、不慣れな部分ばかりですが、お力添えよろしく願います。

やまさき ひろつぐ

今回科長を拝命した他の3人の先生たちとは中学高校や大学の同級生で、友人です。お前と呼び合えます（世代的におんしゃあとは言いませんが）。自分の患者さんを相談して助けてもらう時、むずがゆいような誇らしいような不思議な感謝を感じます。先生でなかったころのお互いの顔をいつまでも忘れずに、これからも頑張ろう。

にしもと よう

||||| 乞！熱烈応援 |||||

病床管理・超急性期担当として

現場の声と気づきの心を大切に

職員のみなさんと一緒に



近森病院
副看護部長
工藤 淑恵

看護師になり長い年月を振り返ると、いつも患者さんやそのご家族、そして共に働くスタッフの皆さんから看護する喜びをいただき、支えられて続けていくことができました。

日々進化する医療のなかで、患者さんとそのご家族をいちばん近くで支援している看護の現場を大切に、まだまだ未熟ではありますができる限り努めたいと思います。

くどう よしえ

わくわくを忘れず



近森病院
副看護部長
齊藤 尚子

今年度の看護部目標は「個性・根拠のあるケアの実践」となっています。看護業務の効率化と統一化を図り、根拠に基づいた質の高い看護の提供ができるよう、視座を高め取り組んでいきたいと思っています。

また、互いにサポートしあい、看護師が健康で安心して仕事ができる職場環境づくりにも努めたいと考えています。

さいとう なおこ

マネジメントを意識



近森病院
副看護部長
近森 幹子

医療安全、感染対策という大変な役割を担うことになりました。職員のみなさんや医療安全専従看護師、感染管理専従看護師と協力し、より一層、安心して安全な療養環境、職場環境となるように目を配り、質の向上に努めたいと思います。

これまでの経験も生かし、さらに自分自身が自己研鑽に努め頑張りますのでよろしくお願いします。

ちかもり みきこ

常に前進あるのみ



近森リハビリテーション病院
副看護部長
岡村 奈保

建築中の新リハ病院の見学に行ってきました。まだ、壁もないコンクリートの殺風景な建築現場でしたが、なぜか「ここでどんな看護・ケアができるのだろう」とわくわくしました。

新病院では、大変なことのほうが多いと覚悟していますが、この「わくわく」を忘れずスタッフとともに納得のいく看護・ケアができるようにがんばりたいと思います。

おかむら なほ



近森オルソリハビリテーション病院
副看護部長
中谷 明未

日頃は医療安全管理者として、三つのマネジメント（エラー・クオリティ・コンフリクト）に注目し、医療安全推進活動に取り組んでいます。今後も看護の質向上や安全で安心して働くことのできる職場環境づくりを目指していきたいと思っています。

職場のあらゆる「マネジメント」を意識し、微力な中年期力を尽くしたいと思います。よろしくお願いします。

なかや あけみ



近森オルソリハビリテーション病院
4階病棟 シニア看護師長
山崎 成美

オルソが開院して8年目になります。日々忙しい業務のなかで、患者さんが無事退院されていく姿をみて励まされています。

「常に前進あるのみ」をモットーに、今後はさらに病棟運営や人材育成、教育活動を中心に自己研鑽を積み重ねながら、日々頑張っていきたいと思っています。

やまさき なるみ

乞！熱烈応援

みんなと協力し看護力 UP

継続と発展を

私(主任)の元気は、組織の元気



近森病院
副看護部長
森本 志保

このたび、4月1日付で副看護部長(教育担当)の辞令をいただきました。近森病院で教育に関わるようになり3年が過ぎましたが、まだまだ未熟なことが多く、身に余る思いがしております。ほかの副看護部長と協力して、今後も働きやすい環境づくりに努め、「ひとり一人の看護師が、患者さんのベッドサイドで良いケアができる」看護師の育成をしていきたいと思っています。

もりもと しほ



近森病院(総合心療センター担当)
副看護部長
武田 直子

平成元年からずっと精神科一筋で勤務させていただいてきましたが、この度、副看護部長の任をいただきました。四半世紀余の歳月のなかで、精神科を巡る状況は大きく変化しましたが、近森病院の精神科は常に社会と患者さんに真摯に向き合ってきました。今後もその歴史を継続し、さらにスタッフと共に発展させていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

たけだ なおこ



看護部
キャリア開発課課長
大藪 定子

この4月からキャリア開発課、課長として働かせていただくことになりました。

主に近森会看護部の主任研修に関わっていきたくと考えています。自分のキャリアをデザインし、年度末にはそれぞれが達成感を感じ、結果組織に貢献できる人材育成に繋がればと願っています。

おおやぶ さだこ

患者さん中心の看護を

こつこつと

幾つになっても前進



近森病院
5階C病棟 看護師長
山本 詩帆

今回のお話をいただいた時、大変驚き躊躇しました。というのも、訪問看護師やケアマネ、退院調整看護師といった在宅分野での活動が長かったからです。しかし、だからこそできることもあるのでは、と思いなおしました。

病棟での看護を学びなおしながらこれまでの経験を活かし、病棟スタッフと共に患者さん中心の看護を提供していきたいと思っています。

やまもと しほ

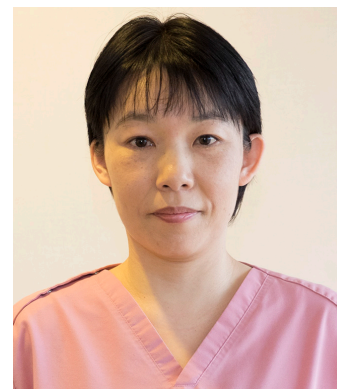


近森オルソリハビリテーション病院
6階病棟 看護師長
高橋 さち

周囲の人たちに支えられ今の自分があると思います。まだまだたくさん勉強することもあり、師長としての課題もたくさんあります。

決して器用ではなく天然の私ですが、自分なりにこつこつと、日々自己研鑽に努めながら明るい職場を目指し、皆様の期待に添えるように頑張りたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

たかはし さち



近森リハビリテーション病院
3階病棟西 看護師 主任
田中 恵美

長年、准看護師として仕事をしていましたが、数年前に通信の看護学校を卒業し看護師として現在に至っています。思いやりの心を忘れないように、日々働きやすい職場作りを意識しながら病棟スタッフとの関わりを大事にしています。これからも努力を惜しまず、今年度、近森病院に就職することになった娘と一緒に成長、前進していきたいと思っています。

たなか めぐみ

■ ■ ■ 乞！熱烈応援 ■ ■ ■

失語症や構音障害も

仲間と共に



近森病院リハビリテーション部
言語療法科主任
池 祐子

言語聴覚士は、急性期では摂食・嚥下障害の患者さんへの対応が多いですが、失語症、構音障害などコミュニケーション障害への対応も大切な仕事になります。発症直後のコミュニケーション能力・代償手段を評価し、早く安心して入院生活を送られるよう援助することが重要となります。この分野についても信頼される部署になるよう、頑張りたいと思います。

いけ ゆうこ



近森病院リハビリテーション部
作業療法科主任
道倉 由美香

近森病院に就職して12年になります。今日まで続けてこれたのは頼れる先輩方や個性豊かな後輩達の仲間が優しく支えてくれていたからです。感謝の気持ちを忘れずに、大好きな仲間と共に、チーム力を高め、明るく元気な職場をつくっていききたいと思います。

患者さんにご家族へより良い作業療法が提供できるように、日々精進していききたいと思います。

みちくら ゆみか

退職のごあいさつ

大好きな近森会で28年間 お世話になりました！



近森病院総合心療センター
看護部長 松永 智香

◀就職時1987年7月刊の
「ひろっぱ」に掲載された

1987年に近森病院就職後の数年間は、基準看護の導入など医療においての大変革期でした。私は整形外科病棟において平均在院日数の短縮に携わりながら、地域連携病院に改めて感謝の念を覚えました。その後大学院に進み、復職後は第二分院から総合心療センターへの移行や附属看護学校の立ち上げなどに参加させていただきました。

近森会は目の前に目標が掲げられて、自己実現の機会を与えてくれる魅力ある職場でした。大好きな近森会ですが、少し違う場所で看護サービスを提供したいという「おもい」が出てきました。

私のわがままに対して、チャレンジ

することを応援してくださるみなさんは、私にとってやっぱり素敵な仲間です。これからも公私ともどもよろしくお願いします。 まつなが ともか



職員旅行

今回はギリシャに行ってきました

▼街を見下ろし記念写真



▼神殿：神話の世界に
迷い込んだかのような…



私の趣味

花は癒し……

近森リハビリテーション病院

4階病棟西

看護師長 中越 由紀



昔から花が好きで、きれいな花を見ると思わず写真を撮ってしまう私。ここ数年はまっているのが、洋蘭を育てることです。花の咲き終わった洋蘭の鉢が捨てられそうになっていたのをもらってきたのがきっかけ。花の咲かない葉ばかり眺め続けて3年、ようやく素敵な花を咲かせてくれました。もらってきたものの、環境が変わったせいかなかなか花を咲かせてくれませんでした。

ネットで洋蘭の育て方を調べて、風通しの良いところに置いてみたり、涼しい場所に置いてみたり…どうやら花は環境の変化を好まないようです。今置いてある出窓に移して適度に水をやる…それを繰り返してようやく美しい花を咲かせてくれた時にはちょっと感動です。それ以来洋蘭にはまってしまいました。

昨年末、さらに花の終わった洋蘭を2鉢いただきました。まだどんな花を咲かせてくれるのかわかりませんが、いつかきれいな花を咲かせてくれるはず！

その時を今から楽しみに待っているのです。4年目に入った洋蘭は、今年も花を咲かせてくれるのか新芽が伸びています。ああ、早く咲いてくれないかなあ……。私にとって花は癒し。みなさんも育ててみませんか？ なかごし ゆき

■第5回高知県医療再生機構講演会

2015年3月25日

TAVI（カテーテルによる大動脈弁置換術）を
安全に続けるために

近森病院心臓血管外科
部長 入江 博之

2014年12月から当院でも開始しましたTAVI（カテーテルによる大動脈弁置換術）の症例を重ねて参りました。心尖部アプローチ5例に加え、3月25日で大腿動脈からのアプローチが8例を超えました。

これにより、今後は外部指導医立ち合いが不要となりました。当日は他院

の先生方十数人を含む医療従事者約80人でお話をうかがいました。TAVIのあらましから、日本人とヨーロッパでご経験された症例との違いから始まり、技術的なことや将来的な展望にまで幅広くお話をしてくださいました。

今後当院でもTAVIを重ねて参りますが、その一つの節目となる貴重な講演でした。次は経心尖部アプローチ

も同じように独立し、さらに全体の症例数も25例を超えて全国でまだ15施設しかない完全独立した施設に加わりたいと考えています。

いりえ ひろゆき



▼慶應義塾大学医学部循環器内科
講師 林田健太郎先生

■第142回地域医療講演会

2015年3月13日

「フロンティア」の嚥下障害治療



摂食嚥下委員会
近森病院脳神経外科 科長 西本 陽央

近森病院での嚥下障害治療は、さまざまな先進的取り組みがなされている他分野と比較すると、まだまだ発展する可能性を秘めた「フロンティア」です。この「フロンティア」を開拓するための、エイエイオーの掛け声として高知大学医学部耳鼻咽喉科教授の兵頭政光先生にご講

演いただきました。

嚥下障害のメカニズム、評価方法、治療方法についてお話いただき、とくに嚥下内視鏡や嚥下造影のパートでは動画をたくさん示され、大変分かりやすいものでした。兵頭先生ご自身が提唱された嚥下スコアを直接教えていただけるという貴重な場面もありました。

当日は84名もの方々のご参加をい

ただきました。兵頭先生からいただいた大きな掛け声に励まされ、嚥下障害に対して皆でさらに積極的に取り組んでいきたいと思えます。

にしもと よう



▼高知大学医学部耳鼻咽喉科学教室
教授 兵頭政光先生

近森会
保育室

3月28日に今年も元気いっぱい「そるとっ子」が卒園式を迎えました。



▼足長おじさんへ、いつも
絵本をありがとうっ！！



姓名▶読み仮名▶所属▶出身地▶出身校▶趣味



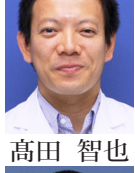
近澤 宏明

ちかざわ ひろあき▶糖尿病・内分泌代謝内科兼リウマチ・膠原病内科医師(科長)▶高知市▶高知医科大学▶趣味はドライブ。前勤務地の四万十川上流の道进行るのが大好きでした。



中間 貴弘

なかま たかひろ▶呼吸器内科医師(科長)▶宮崎県▶長崎大学医学部▶バイク、カメラ、スキューバダイビングが趣味です。高知ならではの川遊びと林道ツーリングをしてみたいと思っています。



高田 智也

たかた ともや▶皮膚科医師(科長)▶高知県▶高知医科大学▶4月から皮膚科科長として赴任しました。自宅から病院までが近いので念願の自転車通勤ができるのが楽しみです。



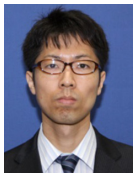
定金 雅之

さだかね まさゆき▶整形外科医師▶岡山市▶大阪市立大学医学部▶趣味はスノーボードと音楽です。今まで沖縄と広島県の福山で勤務しました。



藤 美佳子

ふじ みかこ▶総合心療センター精神科医師▶大阪府▶高知医科大学▶力まず、マイペースでやっていきたいと思っています。



川本 常喬

かわもと のぶたか▶外科医師▶広島県呉市▶高知大学医学部▶1年間地元広島で勤務しましたが、縁あってまた高知で働くこととなりました。近森病院は初めてですが、第2の故郷、高知が好きです。



木村 祐介

きむら ゆうすけ▶形成外科医師▶和歌山県▶大阪医科大学▶医師5年目で今までは沖縄の病院で研修を修了し、内科と一般外科で1年ずつ研修しました。診察中は沖縄弁のはずです。



宮本 陽介

みやもと ようすけ▶心臓血管外科医師▶三重県松阪市▶岡山大学医学部▶机に置けないオチョコというものを試してみたいです。



葛籠 大地

つづら だいち▶循環器内科医師▶愛知県名古屋市▶高知大学医学部▶幡多から黒潮に乗ってやってきました。趣味は美味しい物を食べることです。同志募集中です。



青山 圭

あおやま けい▶近森リハビリテーション病院リハビリテーション科医師▶高知市▶高知大学医学部▶旅行、運動、ドライブが趣味です。患者さんに優しく、自分と仕事には厳しく、日々精進していきたいと思っています。



学校▶埼玉では泥だらけでサッカーゴールを守り、鳥取では海山に支えられ勉強し、今後は力強い土佐の街で医療に全力を尽くす所存です。

久 雅行 ひさ まさゆき▶高知市▶University of California, Irvine▶高校卒業後、7年ほどアメリカで過ごしていましたので、英会話には多少自信があります。その代わり日本語が苦手です。

松浦 拓也 まつうら たくや▶高知県▶高知大学医学部▶中高ではハンドボール、大学でバレーボールとずっとスポーツをやってきました。多くのことを学ばせていただきたいと思っています。

松浦 洋史 まつうら ひろし▶須崎市▶徳島大学▶高知に帰ってきました。決め手は土佐弁!笑。いっぱい土佐弁で話しかけて下さい!

西村 祐希 にしむら ゆうき▶兵庫県▶高知大学▶はじめまして。西村祐希と申します。趣味は体を動かすことです。しんどい時でも笑顔で元気を目標に、毎日努力していきます。

森本 暢 もりもと とおる▶高知市▶高知大学▶地元高知県出身の森本暢と申します。小学生の時から野球をやっており、大学に在学していた6年間で準硬式野球部に所属しており体力には自信があります。



初期研修医 前列左から

伊藤 いづみ いう いづみ▶愛知県名古屋市▶高知大学▶大学生活の間に高知県大好き子になりました。まだ行ったことのない場所がたくさんあるので休みがあったら開拓したいです。

片岡 エマ かたおか えま▶高知市▶高知大学医学部▶中・高ではテニス部に所属していました。大学ではゴルフ部、軽音部でギターをやっていました。スポーツは全般好きで、音楽も好きなので趣味が合う方は仲良くして下さい。

前田 真佐 まえだ まさ▶高知市▶高知大学▶初めまして、研修医1年目、前田真佐と申します。趣味は旅行と買い物です。前向きをモットーとしてやっていきたいと思っています。

三崎 真沙実 みさき まさみ▶新潟県▶高知大学医学部▶冬の暖かい気候にひかれて高知に残ってしまいました。2年間お世話になります。

古後 斗牙 こご とご▶熊本県▶熊本大学▶熊本で生まれ育ち、初の県外で高知県にきました。趣味は、囲碁、将棋、カメラ、食べ歩きです。熊本の観光ならお任せ下さ

い。
橋本 大輔 はしもと だいすけ▶土佐清水市▶高知大学▶土佐清水には「ジョン万スピリット」という言葉があり、これは私のモッ

トーでもあります。高知の夏が好きで、よさこいは毎年出ます。

坂西 誠秀 ばんざい せいしゅう▶埼玉県さいたま市▶鳥取大学・埼玉県立浦和高等



初期研修医(2年目) 前列左から

田村 恵理 たむら えり▶高知県高知市▶高知大学医学部医学科▶趣味はジョギングです。体力には自信があります(笑)。常に笑顔でポジティブに!を心がけています。

山本 ゆい やまもと ゆい▶南国市▶高知大学医学部医学科▶「高知をもっと元気にする!」が私のモットーです。

猪谷 哲司 いのたに さとし▶高知市▶高知大学▶私は元某ファミレスの店長からこ

こでは語り尽くせない経緯でここに至りました。焼肉が好物なので、ぜひ一緒に行きましょう!

小笠原 佑記 おがさわら ゆうき▶高知県南国市▶高知大学▶ドイツのボードゲームをたまにやったりするのが好きです。えっ?それって何?って思ったら声をかけてください!!

2015 新人を迎えて



25 年度臨床研修医修了式を終えて

研修管理委員会委員長

近森病院循環器内科主任部長 川井 和哉

3月26日に修了式が行われ、当院の初期研修医9人が2年間の研修を終え、元気に巣立っていきました。たすきがけプログラムで、1年間当院にて研修を行った3人も無事研修を修了しました。毎年のことですが、研修が始まったころの初々しさ、研修途中の厳しい顔、笑顔、泣き顔、そして修了間際の自信に満ちた顔を思い出し、感無量でした。

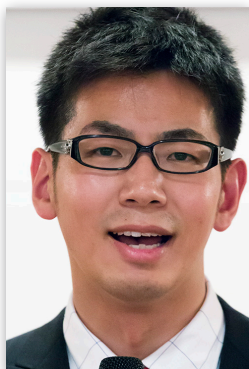
当院に残る者、新しい施設に行く者など選んだ道は違いますが、当院で培った力を元に頑張ってくれるものと信じています。卒業した研修医の県内外での活躍は、当院研修の伝統を感じ嬉しく、そして励みになります。これからも楽しく有意義な研修になるよう、病院をあげてお手伝いしたいと思います。

かわい かずや



受けた優しさを

初期研修医 2 年目 岡村 圭介



先生方やコメディカルの方が常に気遣いフォローして下さったおかげで、2

年間をなんとか終わることができた。この病院でなかったら自分は途中で挫折したのではなかっただろうかと、終えてみてしみじみと思い、この病院で2年間を過ごすことができたことが本当にうれしく感じた。自分が受けた優しさを今後、他の人たちに返していけるよう努力しよう、そう思えたい研修だった。

おかむら けいすけ

誇りに思っています

初期研修医 2 年目 川村 幸代



最も学んだことはチーム医療の素晴らしさです。近森病院で当たり前のよう

に行われている各専門職種の特性を活かしたチーム医療は、他の病院ではなかなか見ることができません。私はこの2年間、各職種のプロに支えていただき、研修を修了することができました。こんな恵まれた環境で研修できたことを誇りに思い、後期研修先でもチーム医療を実践していきたいと思っています。ありがとうございました。

かわむら さちよ

感謝

初期研修医 2 年目 重田 倫子



桜咲く季節を迎え、無事研修を修了できたことを大変嬉しく思います。思い

返すと、いろいろなことがあったあつという間の2年間でした。温かくときに厳しくご指導くださった先生方、サポートして下さった近森会の皆さんのおかげで、貴重な経験を積むことができました。近森病院を離れるのは名残惜しいですが、新しい職場でもここで学んだことを生かして頑張りたいと思っています。2年間有難うございました。

しげた のりこ

通過点

初期研修医 2 年目 瀬戸口 隆彦



この2年間はいろいろありましたが、無事研修を終えることができました。初期研修の感想

を簡単に申し上げますと、とても楽しかったです。いろいろな科を回りましたが、どの科も親切に指導してくださいました。施設や診療科によって、考え方や価値観の違ういろいろな人があることも知りました。今後は精神科に進むことになりましたが、3年目は「忙しくても忙しがない」を目標にしたいと思っています。

せとぐち たかひこ

初期研修×近森病院

初期研修医 2 年目 辻 やよい



ベスト研修医賞

2年間初期研修医として、最初は分からないことだらけで少しでも自分にできることを見つ

けるのに必死でした。少しずつ自分の居場所を見つけられるようになり、いつの間にか近森病院が自分のホームになっていました。これから巣立つ身ですが、ここでの時間は私にとって忘れられないものになりました。有難うございました。これからも高知県の医療に少しでも貢献できるよう精進したいと思います。

つじ やよい

貢献できるよう

初期研修医 2 年目 時信 麻美



先生方には外来、病棟、当直、呼び出しなど時間や場所を問わず大変熱心にご指導いただいた

ことがとても印象的です。コメディカルの方々は、知識も経験も乏しい研修医でも医師として尊重し、至らない点はしっかりと指導をくださりとても嬉しく頼もしかったです。このような素晴らしい環境で研修でき、幸せに思います。今後はお世話になった方々や病院に少しでも貢献できるよう頑張ります。ご指導よろしくお願いします。

ときのぶ あさみ



人生で一番濃かった2年間

初期研修医 2年目 中村 大輔



胸を膨らませて高知に来たのは2年前、飲み会の多さに驚くことから始まり

医師の責任の重さを感じ、患者と関わる楽しさを知り、学ぶことの多さに愕然とし、思うように手技ができず凹む毎日でした。「コーチレジ」の活動でセミナーを企画、家庭では長男が誕生し賑やかになりました。よさこいにもハマリそうです。とにかく濃く楽しい2年間でした。近森病院で学んだことを次のステップに活かします。 なかむら だいすけ

充実した研修でした

初期研修医 2年目 西本 祥大



私はたすきがけプログラムで1年目は高知大学、2年目は近森病院で研修させていただきました。

救急を経験していなかったので不安もありましたが、皆に助けていただき充実した研修を送ることが出来ました。ありがとうございました。4月からは高知大学の脳神経外科に入局しますが、研修医修了式では「立派な脳外科医になって近森に戻ってきま」賞をいただきましたので、実現できるよう頑張ります。

にしもと しょうた

考え方が大きく変化

初期研修医 2年目 濱田 龍正



形成外科を志して研修を始めはや2年が経過してしまいました。研修では内容

を自由に選択させていただいたので形成外科に限らず多くの良い手術を見学することができ、たくさんの経験を得て視野を広げることができたのではないかと考えています。2年間の間に患者さんや先生方との出会いによって、自分の医師としての考え方は大きく変化したように思います。ありがとうございました。

はまだ りゅうしょう

近森病院が大好き

初期研修医 2年目 川口 樹里



高知大学とのたすきがけで1年間、研修をさせていただきました。知識も技術もまだまだで

自信が無いこんな私でも、チームの一員なのだと思わせてくれたのはコメディカルの皆さんでした。院内いたる所でいろんな方が声を掛けてくださる、そんな近森病院が大好きです。4月からは病院を離れてしまいますが、またきっと皆さんにお世話になることがあると思いますので今後ともどうぞよろしくお願いします。

かわぐち じゅり

日々精進

初期研修医 2年目 松田 英之



この2年間は本当にあっという間でした。初病棟、初当直で本当にドキドキ

したことは今でも覚えています。そんななか皆さんに助けていただきながら2年間走り抜けることができました。本当にありがとうございました。私はこれからも近森で働き続けます。毎日があっという間に進んでいく近森病院においていかれぬよう、今後も更なる飛躍をめざして一日一日全力で走り抜けますのでよろしくお願いします。 まつだ ひでゆき

編集室通信

近森病院のすぐ西にある小川町公園。冬の寒さが緩まないうちに梅の花が咲き、春がすぐそこまで近づいているのを教えてくれる。ほどなく桜が一斉に咲き始め、本格的な春の訪れを知る。新緑の頃には公園で過ごす人影が増え、次第に日差しが眩しくなると、蝉の鳴声とともにいよいよ高知の一番熱い季節がやってくる。街の中にいても四季の移ろいを感じさせてくれる癒しの場所である。

リンダ

2015年3月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数	17,951 人
新入院患者数	882 人
退院患者数	860 人

近森病院（急性期）

平均在院日数	16.11 日
地域医療支援病院紹介率	64.48 %
地域医療支援病院逆紹介率	133.48 %
救急車搬入件数	463 件
うち入院件数	257 件
手術件数	414 件
うち手術室実施	280 件
→うち全身麻酔件数	152 件

2015年3月 県外出張件数

件数 58 件 延べ人数 101 人

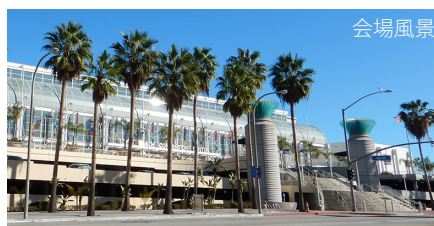
出張報告

米国出張 臨床栄養部

NST（なんにでも積極的に取り組む）
姿勢を肌で感じて……

◀宮澤部長(右)ととも

臨床栄養部 管理栄養士 五十嵐 久実



会場風景

アメリカの Long Beach にて米国静脈経腸栄養学会へ参加し、その後 Atlanta の EMORY 大学病院へ、NST 視察に行き参りました。学会では各メーカーのブースに、日本では見たことない量や大きさの経腸栄養剤や輸液製剤、経腸栄養チューブ等が展示され、ゲーム形式で景品をいただくブースもあり、たいへん活気がありました。

セッションには ICU 関連を中心に朝 6 時から参加し、ユーモアな話術で会場を沸かせ、活発な質疑応答を交わし、積極性に溢れており刺激を受けました。EMORY 大学病院では看護師、薬剤師、栄養士等より話をうかがいました。食事内容は患者が自分で選択して食べるシステムで喫食率が良いとのことでした。食事制限のある方は、臨床の栄養士とは別に給食専門の栄養士が食事対応を行い、日本とは違い専門性

が分かれていました。

NST では、1 人の栄養士が担当する患者 65 名の内、毎日 15 名ほど介入し、病態に応じた輸液や経腸栄養の処方を行っておりました。見学した ICU 病棟では、各病室に患者の 1 日のゴールを表記し、1 日に投与する栄養量を記入して多職種で情報共有できる環境を作り上げており、わかりやすかったです。

看護師から「他職種も栄養の必要性を理解し、常にチームでコミュニケーションを図ることをもっとも大事にしている」とうかがい、日々の業務のなかで忘れてはいけないことだと思いました。米国の積極的な栄養管理を目の当たりにし、日々の業務において研鑽を重ね、より良い栄養管理を提供できるよう精進しなければと強く感じた出張でした。 いがらし くみ

ザ・RINSHO 24 健康管理センター 2

職員の皆さん、健康診断の
受診義務をご存知ですか？

総務課健康管理センター

主任 村上 麻世



今回は健診などの衛生管理活動について紹介します。内容は各種健康診断（雇用時、定期、特定業務従事者）、給食従事者健診、ぎょう虫検査、各種ワクチン接種があります。

健康診断はその種類によって実施時期が決まっており、事業主に実施が義務づけられていますが、職員にも受診義務があります。多忙な業務のなか、一人でも多くの方に項目もれなく実施していただけるよう、運用方法の見直しを行うとともに、所属長への協力を要請し、スムーズな実施に向けて検討を重ねています。そして何よりも、職

員一人ひとりが

自分の健康管理に意識を持てることが必要です。

職業感染予防として、感染対策委員会と協力し、インフルエンザや B 型肝炎など計 6 種類のワクチン接種を実施しています。昨年度は延べ 3,556 名の接種を行いました。医療人として、自分自身の身を守ると共に、自分自身が感染源とならないよう医療人としての自覚が求められます。次回は、メンタルヘルス対策などの産業保健活動についてご紹介したいと思います。

むらかみ あさよ

リレーエッセイ

女子力アップ

～プリザーブドフラワー～

近森病院 7 階 A 病棟

看護師 北川 知子



今までいろいろな習い事をしてきました。ピアノ、茶道、華道、硬筆などなどやってきました。どれも極めることなく中途半端に終わっています。が、最近以前から興味があったプリザーブドフラワーを習い始めています。通い始めて 1 年以上になりました。

最初は時間がかかり、2 個作るのがやっとでしたが、最近では 5、6 個作ることができ、誰かを思って制作している時間は無心になって作っているの、時間のたつのも早く、いいストレス発散になっています。

いくつか会心のできの作品はありますが、写真にある後輩の結婚式のブーケは 1、2 を争う作品になりました。花嫁さんとても気に入ってくれて、たいへんでしたが、「作ってよかったな」とおもいました。通っているところは高松ですが、職場の同僚 3 人で高速に乗って、昼はうどんを食べ比べるのも一つの楽しみです。

いろいろな物を作って行きたいと思っています。きたがわ ともこ

図書室便り (2015 年 3 月受入分)

- 大腸外科学書／楠正人（編著）
- ガイドライン外来診療 2015／泉孝英（編集主幹）
- レジデントのための感染症診療マニュアル第 3 版／青木眞
- 内視鏡技師・看護師ポケットナビ／田村君英（編）

《別冊・増刊号》

- 医学のあゆみ別冊循環器と画像診断 Update／赤阪隆史（編）
- Nursing BUSINESS 2015 年春季増刊現場でできる「看護倫理」教育・実践マニュアルチームの倫理的感受性がぐんと上がる！／照沼則子（他編著）

(職員の家族限定版)

春休み！ 病院体験ツアー第4弾

実地体験が夢を膨らませる！

見ると聞くとは大違い、とは良くいわれますが、体験はもっと強い印象をあたえます。春と夏の休みに2回行われる病院体験ツアーでは、高度に進化・複雑化した病院内での見学と実習、いろいろな職種の人々の動きを通じて医療に携わる人た

近森病院神経内科主任部長 山崎 正博

ちの仕事内容を理解し、自分の将来を考えてもらうよう企画しています。各部署では疑似体験ができるよう工夫・準備しました。実地体験を通じ自分の夢を膨らませて下さい。

やまさき まさひろ



▲リハビリテーション部で低周波を腕に流している
 ▲ERで心肺蘇生をやってみる

▲外科で腹腔鏡を操作して

▼循環器内科でカテーテル挿入
 ▼神経内科で音叉を当てる

▶看護学校で老人を体験



▼臨床工学部で人工呼吸器を当て

▼整形外科でギプスをはめる

▼薬剤部で薬の混ぜ合わせ

▼臨床検査部で血液型を調べる

